

# 山のトイレのイメージを覆す。 環境に配慮したトイレ。

## 低コストでの設置が可能。

年間およそ20万人が訪れる富士山では、ゴミやトイレが問題となる事が多い。特に近年ではトイレ(し尿)による土壌汚染が問題視されている。

ラップオンは、山岳地帯では特に貴重な資源である水をまったく必要とせず、特殊な防臭フィルムで排泄物を完全に密封し、燃やしてもダイオキシンなどの有害な物質は発生しない。また、給排水工事や便槽工事などの作業が不要なことから低コストでの設置が可能である。このような理由から、環境省関東地方環境事務所からの要請で2007年7月から約2ヶ月の間、仮設する事が決まった。期間中約3万人の登山客にラップオンを使用していた。



ラップオンの使用の様子

## 様々な分野から需要が高まるラップ式トイレ。

排泄物を自動的にラップする機能を持ち合わせた「ラップオン」は、臭いや処理の手間などの負担を軽減し、ポータブルトイレの「汚い」というイメージを一新した。設置の手軽さに加え、水を全く使わない新しいタイプのトイレとして国内外からの注目を集め、介護・災害・医療・キャンプなど様々な分野からの需要がある。

富士山のように年間を通して多くの観光客が訪れる国立公園や山岳地ではトイレ設備が未整備な場所が多い。豊かな自然と大切な資源である水を守るために、次世代型トイレ『ラップオン』が導入されている。

## location



富士山 富士吉田口下山道  
7合目 4基



富士山 富士宮口  
新5合目 1基

### ラップオン・シェルパ

不特定多数の利用者のために凝固剤を自動で投入する機能を搭載した、富士山仕様のラップオン。  
(完全オーダーメイド)

